

文化スポーツ課

ひとの命を、救う。 体育施設救命講習・消防訓練を実施

「大切な人の命を守りたい」このことばをモットーに、「嵐山町体育施設救命講習・消防訓練」が7月3日、嵐山町B&G海洋センターにおいて開催されました。比企広域消防本部の協力のもと、90名の町内体育施設利用者やスポーツ指導者、町内保育施設職員の方々が参加しました。

午前10時、大きな活気に満ち溢れる中、トレーニングルームにおいて開会式が行われました。その後、全体を2チームに分け、自動体外式除細動器(以下・AED)の演習、胸骨圧迫による心肺蘇生法の演習、火災を想定した避難訓練、水消火器による消火訓練、町内体育施設及び小中学校におけるAEDの設置場所の説明等が行われました。



全体の約7割が講習未経験者



のため、メモを取りながら説明を聴いたり、汗を拭いながら一生懸命演習や訓練に取り組みだしたりしました。

町内在住の永井優一さんは「今回、初めて受講したが、とても充実した講習を受けた。万が一の際は、今回の経験を活かして率先して取り組みたい」と話していました。

問合せ 文化スポーツ課 生涯学習担当 ☎62-0824

文化スポーツ課

ペットボトルでプールにプカプカ ギネス世界記録に挑戦 28名参加

2リットルのペットボトルを抱えて水に浮かぶ「全国一斉1分間ペットボトル浮きギネス世界記録に挑戦」のイベントが7月24日、嵐山町B&G海洋センターにおいて開催されました。同挑戦は公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(B&G財団、本部・東京都港区)が企画し、全国48箇所の海洋センター・海洋クラブで1515名が全国一斉、同時刻にこのイベントに参加し、ギネス世界記録認定に向けて挑戦しました。



嵐山町からは9歳から54歳までの28名が参加し、1人2本ずつペットボトルを持ち、目・鼻・口および両足のつま先が常に水面から出た状態を保ちながら、14時00分00秒から14時01分00秒までの1分間、プールに浮かびました。



問合せ 文化スポーツ課 生涯学習担当 ☎62-0824

ご存知ですか?

菅谷館跡の忠魂祠と嵐山町遺族会の活動について

みなさんは、菅谷館跡に嵐山町の戦没者の忠魂祠があるのをご存知ですか?自然に囲まれた敷地内で、二ノ郭の奥にそれはひっそりと佇んでいます。

7月17日、早朝から、6名の方がそれぞれ道具を持ち寄り、清掃を行いました。今回清掃を担当した古里1区の神山一郎さんは、「嵐山町遺族会では、区



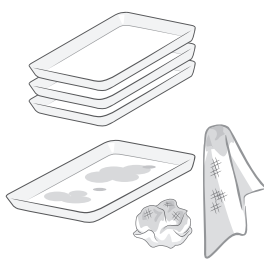
の持ち回りで定期的に忠魂祠周辺の草刈、掃き掃除など清掃活動を行っています。敷地が広く大変ですが、戦没者の鎮魂のために、区のみなさんに声をかけて集まっています」と話してくださいました。

を出すときれいになります。



【納豆の容器】は、食事が済むまでの間、水に浸しておいてから軽くゆすぐときれいになります。

【食品トレイ】は、食品が付いていた面を布などで拭き取るだけでもきれいになります。



【食用油の容器】は、使用後に容器を逆さにして、しばらく倒れないようにすれば、1回分使えるだけの量の油が溜まります。

ベタベタしないように布などで拭き取れば、洗剤を使わずきれいになります。

皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

問合せ 環境農政課 みどり環境担当 ☎62-0719

地域支援課

男女共同参画関連の研修に参加してみませんか

参加費を補助します

男女共同参画社会とは、一人ひとりが性別に関わりなく能力と個性を発揮できる社会です。女性も男性も前向きに多様な生き方ができるよう、町では、男女共同参画社会の形成の促進に係る研修等に参加する場面に、参加費用を補助する事業を実施しています。

対象研修 1. 独立行政法人国立女性教育会館で行われる研修 2. 日本女性会議 3. その他町長が認めるもの

補助対象者 町内に居住する人、または町内の事業所に勤務する人

補助対象経費 1. 交通費 2. 宿泊料 3. 参加負担金(資料代を含む) ※交通費および宿泊料については、嵐山町職員等の旅費に関する条例の一般職の職員の例により算出します。

補助金額 3万円を上限(千円未満の端数があるときは切り捨て) 申込み

「嵐山町男女共同参画研修参加補助金交付申請書」に必要事項を記入の上、地域支援課に持参または郵送で提出してください。申込みは随時受け付けます。

研修参加の手続き、旅行手続き等は参加者各自で行ってください。 ※詳細は、町HPをご参照ください。 問合せ 地域支援課 政策創生活担当 ☎62-2152

日本女性会議2016秋田が開催されます

「日本女性会議」は、男女共同参画に関する国内最大の会議です。女性を取り巻く課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進やネットワーク化を図ることを目的に、30年以上にわたり様々な都市で開催されています。

今年秋田県秋田市で開催されます。

会場 秋田県民会館ほか 日程 10月28日(金) 30日(日) 大会テーマ みつめて みとめて あなたと私 多様性

(ダイバーシティ)とは ※詳しくはHPをご覧ください

環境農政課

「資源プラスチック類」の排出にご注意ください

皆さんのご家庭から排出される「資源プラスチック類」は、(株)エコ計画嵐山エコスペースで固形燃料の原料としてリサイクルされています。

排出された「資源プラスチック類」の容器内に「食品」や「内容物の残り」があると、運搬時などに正しく排出された他のプラスチックに付着してしまい、「固形燃料」としてリサイクルすることが出来なくなってしまう。

リサイクルを推進するには、皆さん一人ひとりのご協力が重要になります。ご家庭から排出するときは、水ですすぐなど、きれいにしてから各ごみステーションに出していただきますようお願いいたします。

※廃プラスチック類(特に塩化ビニール類・金属類(飲料用の缶など)・ガラス類・ペットボトル・薬品等は、絶対に混入しないでください。 (詳しくは、収集カレンダーの15ページをご覧ください) 「資源プラスチック類」には、次のマークが印字されています。分別をする際に確認してください。



・ポリエチレン(PE) 食品容器、包装用フィルム(包材)、買い物袋など

・ポリプロピレン(PP) 薬品の容器、結束ひも、お菓子の包装袋など

・ポリスチレン(PS) 食品用トレイ、発泡スチロール、プラモデルなど

★「資源プラスチック類」として出す前にちよっとひと手間 容器をきれいにするときに「食器洗浄に使った残り水」や「古布」を使いましょう!

【ペットボトル】は、容器の中を軽くすすいで、「ラベルとキャップ」は分けてください。



【チューブ容器(食品以外)】は、水の中で膨らませて、チューブの中に水を入れ、キャップをしたまま、軽く振って水